実は知らない!? 博多の49トリビア

HAKATA MAP

結局「49」って何のこと？

博多はかつて「7」になぞらえて町づくりをしたと言われている。
七小路、七厨子、七堂、七口、七流、七観音、七番……
そう、この町には7×7＝“49の幸せ”への願いが込められているのだ。
博多にとってゆかりのある数字「49」にちなんで、49のトリビアを紹介。
実際に足を運んで探してみよう。

38 承天寺（じょうてんじ）

本当のうどん県は福岡!?うどんもそばもここから誕生。

境内には「饂飩蕎麦発祥之地」と刻まれた碑が。
さらに饅頭や博多織も承天寺から伝わったと言われている。

39 立石ガクブチ店（たていしがくぶちてん）

博多の文化遺産がザックザク。

「博多町家造り」の店内には、
明治時代のオモチャや生活用品が
展示されている。床下には
太平洋戦争時に実際に使われた
防空壕もあり、予約をすれば見学可。
TEL.092-281-4008

40 博多町家寄進高灯籠（はかたまちやきしんたかとうろう）

明治時代にも広告塔があったのだ。

中洲の清流公園に立つ高さ10mの石灯籠。
遊園地「向島」の開園記念に建てたもので、
四面には協賛した商店の屋号がびっしり。

41 遠藤商店（えんどうしょうてん）

ノスタルジーの宝庫であの頃にタイムスリップ。

駄菓子の卸問屋。
ベーゴマ、竹とんぼ、10円ガムなど
子どもの頃に親しんだ玩具や駄菓子が
店内に所狭しと並んでいる。
しかも問屋価格。
あの頃できなかった大人買いに走れ！
TEL.092-291-1158

42 ホテルオークラ福岡（ほてるおーくらふくおか）

ホテルで生まれた博多ドラフト

『ホテルオークラ福岡』の地下1階には
醸造所が存在するのを知っていただろうか。
ここでつくられるビールは3種類。
数々のコンペティションで受賞している。

43 中洲の夜景（なかすのやけい）

上ばかり向いていないでたまには下も見てごらん。

言わずと知れた西日本一の歓楽街。
夜は那珂川の水面に移り込むネオン街の夜景が見もの。

44 川端大神宮（かわばただいじんぐう）

伊勢と京都伏見からはるばる来福！

享保の大きさんの際の功績により、
黒田藩から上川端に旅人問屋を開く
ことを許された桜田屋長野家が、
伊勢大神宮から勧請し自宅に祀った
のが始まり。末社の稲荷社は京都伏見
から勧請したとか。

45 おボンブ様（おぼんぶさま）

今でも使える。市民の愛で保存！

福岡大空襲に耐え、福岡大浦水の際に
活躍したポンプ。市民たちは親しみを込めて
「おボンブ様」と呼んでいる。

46 上川端商店街（かみかわばたしょうてんがい）

おっとここにも献上柄が！

アーケードを見あげると博多織の献上柄を
あしらった提灯型LEDが。
提灯は、博多祇園山笠の土居流の提灯を
原寸大で再現している。

47 博多べい（はかたべい）

おせんべいじゃないから食べられません。

戦乱で廃墟になりかけた博多の町を
豊臣秀吉が復興したときに、
焼けた石や瓦を使って造られた土塀。
妙楽寺や櫛田神社などに
あり。

28 博多ガイドの会（はかたがいどのかい）

物知りガイドに何でも聞こう。

博多の専門ガイドは紫色の法被が目印。
東長寺の境内を無料で案内してくれる。
見つけたらここには載っていない
トリビアも披露してくれるかも！

29 萬四郎神社（まんしろうじんじゃ）

子どもの健康は小四郎と萬と助におまかせ。

江戸時代初期、密貿易の罪で処刑された
博多商人伊藤小左衛門とその一族。
小左衛門の幼子、小四郎と萬と助が祀られた
この神社で遊ぶ子どもは稲荷狐のお守りで
怪我をしないという。
毎年7月20日は子ども祭りがある。
子どもの息災を願うならココへ。

30 ブラジレイロ（ぶらじれいろ）

博多なのにブラジル？

昭和9年創業、博多最古の喫茶店。
当初はブラジルのコーヒー局が
ブラジルコーヒー豆を宣伝するために
作ったからこんな店名なのだとか。
ランチもおすすめ！
TEL.092-271-0021

31 飾り山笠（かざりやまかさ）

山笠のあるけん博多たい！

博多の夏の風物詩「博多祇園山笠」。
その飾り山笠が一年中
見られるのは櫛田神社と
川端ぜんざい広場だけ！
山のぼせ必見の
アプリが出来ました。

32 楽水園（らくすいえん）

疲れたときにはここで癒されて。

オフィス街の一角に突如
現れる博多のオアシス。
明治時代に建てられた博多
商家の別荘を改装している。
日本庭園を眺めながら
抹茶でほっとひと息。

33 カレー激戦区!? スパイシー博多。

老舗喫茶店、インドカレー店など、こだわりのカレーを出す店が増えているらしい……!?

34 博多ポートタワー（はかたぽーとたわー）

設計者は東京タワーと同じ！

福岡でタワーと言えば福岡タワーだが、
実はコチラを手がけたのは
東京タワーや2代目通天閣を
設計した人なのだ。入場無料の
展望室からは福岡市街が一望できる。

35 「博多町家」ふるさと館（はかたまちやふるさとかん）

これを飲まずして櫛田神社を語るなかれ。

世界が認める輸出有望加工食品ベスト4に
選出されたジンジャーエールをベースに
仕上げた「櫛田じんじゃーえーる」を販売。
まさか、神社とジンジャーエールを
かけているなんて、そんなまさか。
TEL.092-281-7761

36 石墨遺構展示室（せきるいいこうてんじしつ）

小学校の地下に元寇防塁があるなんて。

博多湾沿岸に築いた元寇防塁が、
現在の博多小学校に展示されている。
石墨遺構展示室で土日のみ見学可。

37

よーお（シャンシャン）! もひとつ（シャンシャン）!

宴会時、そろそろお開きというときに
聞こえてくる手拍子と威勢の良いかけ声。
「博多手一本」と言って、
コレができないと“モグリ”認定!?

22 出来町公園（できまちこうえん）

初代博多駅はココにあった……。

明治22年に九州鉄道株式会社が設立される
とともに博多駅も開業。当時、博多駅は現在の
場所ではなく出来町公園の一角にあった。

23 上川端麺スクエア。

上川端商店街と冷泉通りの交差点には
ラーメンやうどんなど、麺系の店が
集中していることから勝手に命名！

24 東長寺（とうちょうじ）

高さ10.8m、重さ30t！巨大大仏は「凶」が決め手。

4年の歳月を経て完成した「福岡大仏」は
木造坐像では日本最大級の大きさを
誇る。実は建立にあたり「おみくじで
あなたが数少ない凶を引いたら
大仏を建てます」と住職が
仏師に言ったことが
実現したのだそう。

25 博多美人（はかたびじん）

世界に誇れる博多美人の芸妓が勢ぞろい。

「日本三大美人」に数えられる博多美人。
博多美人の代表とも言える博多芸妓を
取りまとめているのが「博多券番」。

26 博多鋏（はかたはさみ）

日本初の鋏がルーツ！

日本初の鋏は、南宋の謝国明が博多に持ち帰った唐鋏。
以後、博多で制作されるようになった唐鋏を、明治時代に
高柳亀吉が博多鋏と改称！
現在は制作されていないが、「博多町家」ふるさと館等の
展示で見ることができる。

27 門田提灯店（かどたちょうちんてん）

櫛田神社も、あのお店も…

明治28年の創業以来、手書き文字に拘って提灯を製造販売。
博多祇園山笠、どんたくのパレードで使う提灯や、
櫛田神社の大提灯、各店舗の軒先に吊がる看板提灯も
てがけている。
TEL.092-271-5766

16 トリップインサイト（とりっぷいんさいと）

博多がもーっとグローバルに。

昭和33年桑の冷泉荘にある外国人専門旅行会社。
博多を英語で案内する
Fukuoka Walking Tourは
50ヶ国以上から参加がある人気ツアー。

18 大博通り（たいはくどおり）

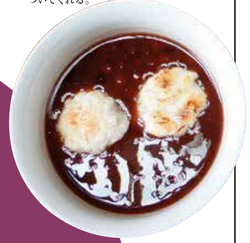
通りまるごと博物館!?

博多駅と博多港を結ぶ通りには、
弥生時代から近世にいたるまで、
各時代の特色を表す出土品のレプリカ
や写真を配置している。

17 川端ぜんざい広場（かわばたぜんざいひろば）

週末にしか食べられない愛情たっぷりぜんざい。

上川端商店街の一角に、
金土日祝のみオープン。
メニューはぜんざいのみで、笑顔が
素敵な博多美人たちがテキパキと
ついでくれる。



19 龍宮寺（りゅうぐうじ）

人魚が眠る寺……。

1222年、龍宮からやってきた人魚が
博多の海に流れつき、この寺に埋葬されたという
伝説が残る。なんとその人魚の骨は現存し、
見学もできる（要問合せ）。
TEL.092-291-1003

20 萬はし本店（まんはしほてん）

神様に認められた箸って？

国産物を中心に割り箸、塗箸、祝箸を取り扱う。
すべて櫛田神社でお祓いをして
販売しているのが特徴だ。
TEL.092-291-4503

21 博多織（はかたおり）

気品あふれる博多織は五色の献上博多が最上級。

770余年の歴史をもつ日本三大帯のひとつ。
「博多織五色献上」は江戸時代に
幕府へ献上した原点の古式染め色を再現している。

10 博多うどん（はかたうどん）

コシがないからウマイ！

イリコがベースのつゆに
柔らかくコシがない麺。
ごぼ天をのせてさらにかしわ飯。
これぞ博多うどんのスタイル！

11 松田ネーム刺繍店（まつだねーむししゅうてん）

これであなたも博多通！にわかグッズでおめかし。

博多にわかのワッペンや帽子、博多弁が刺繍
されたグッズが充実しているのはココだけ。
TEL.092-291-5889

12 博多仁和加（はかたにわか）

ぼんち可愛いや寝んねしな～♪

にわか面をつけ、博多弁を使って
会話の最後にオチをつける
ユーモアあふれる即興笑劇。
ふるさと館で観覧できるチャンスも。
名人に会いに行こう！

13 博多千年門（はかたせんねんのもん）

門を抜けると、そこはお寺が建ち並ぶ町でした。

博多を訪れた人々を、歴史的文化財が多く残る寺社町エリアに導くウエルカムゲート。
江戸時代に存在した「辻堂口門」にならい、中世博多の寺社様式を採用。
まちの繁栄を願う人々によって建設された。

14 妙楽寺（みょうらくじ）

名古屋名物の“アレ”も実は博多が発祥だった！

鎌倉時代、妙楽寺にやってきた儒医から
薬品の作り方を子孫が受け継ぎ
「外郎」として販売したのが始まり。
ういろうお菓子として伝わり、
なぜか名古屋名物に。

15 西門蒲鉾（さいもんかまぼこ）

チューリップ？カマボコじゃないの!?

自家製のカマボコが人気。
オーナーは、なんと有名バンド「チューリップ」のドラムス・上田雅利さんの兄！
若かりし頃の写真などを展示しているため、ファンの聖地巡りの場所としても有名だ。
TEL.0120-317-917

01 住吉神社（すみよしじんじゃ）

はっけよい、のこった！相撲の神様がいる神社。

国技・相撲道の真髄「心・気・体」を表す
相撲三神のうち、気の住吉大神を
祀っている住吉神社は相撲との縁が深い。
毎年秋に「横綱奉納土俵入り」が開催されている。
TEL.092-291-2670

02 海元寺（かいげんじ）

奪衣婆にコンニャクを！いいことあるかも？

（だつえば）
毎年1月・8月の16日に「閻魔祭」を開催。
三途の川のそばにいると言われる
「奪衣婆」にコンニャクを供えると子どもの
病気が治ったり母乳が
よく出るようになったりするとか。

03 吉武商店（よしたけしょうてん）

猫カフェならぬ猫角打ち店!?

昼から飲めるディープな角打ち店として、
酒好きの間で密かに愛されている。
おしゃべりな女将さんや
どこからともなくやってきて
膝に座ってくる猫も人気の理由。
TEL.092-291-2408（日曜は休み）

04 御供所のまち並み（ごくしょのまちなみ）

カメラ好きにはたまらない絵になる場所がたくさん。

寺や町家など古い建物が残る
御供所エリアは撮影スポットが点在！

05 H級グルメ（はかたきゅうぐるめ）

博多といえばやっぱりコレ。

ゴマサバ、おきゅうと、酢モツなど、
博多名物グルメの総称。

06 櫛田茶屋（くしだちゃや）

櫛田神社が大家さん。

櫛田神社の南門に店を構えて70余年。
店主は由堂の西流宮総代と、
根っからの“博多っ子”だ。
北海道産の小豆をたっぷり使った
焼き餅は、冷めてもウマイ！
TEL.092-271-7618

07 ながさわ結納店（ながさわゆいのうてん）

ワインボトルにも水引!?

二代目の長澤宏美さんが
水引を現代風にアレンジ。
ブローチ、ワインや日本酒のボトルに
つけるためのリボンなどが揃う
「HAKATA MIZUHIKI」シリーズが
評判だ。
TEL.092-271-0813

08 櫛田神社（くしだじんじゃ）

風神が雷神にあっかんべー。

拝殿破風の左右に掲げられている
風神雷神の木彫り。よーく見ると、
雷神が「一緒に博多で暴風を起こそう」と
誘っているのを風神があっかんべーして
逃げているのがわかる。

09 川上音二郎（かわかみおとじろう）

博多の芸人の筆頭株と言えば。

「博多座」の道向いに鎮座する
「オッペケペー節」で一世を風靡した
川上音二郎の像。
音二郎生誕記念碑が近くの
沖濱稲荷神社にあり、博多座に
出演する俳優がお参りすることも。